

科目名	音楽基礎B1								年度	2024
英語科目名	Basic Theory of Music B1								学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	野村大輔・加茂文吉		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 基本的な機材の使い方を理解し、現代ミュージシャンとして必要な基礎スキルである「MIDI」と「ミキシング」を学ぶ。										
【科目の概要】 現代ミュージシャンとしての基礎スキル「MIDI」「ミキシング」を学びます。										
【到達目標】 A. ミキサーとスピーカーを順番を適切に電源を入れて、シールドで接続したデバイスから音を出すことができる。 B. マイクケーブルに関する知見を取得する。 C. 真空管ギターアンプに関する知見を取得する。										
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力					
到達目標 A	ミキサーとスピーカーを順番を適切に電源を入れて、シールドで接続したデバイスから音を出すことができる		ミキサーとスピーカーを順番を適切に、電源を入れることができる		到達目標Aについてさらなる努力が必要					
到達目標 B	マイクケーブルに関する知見を深く取得する		マイクケーブルに関する知見を取得		到達目標Bについてさらなる努力が必要					
到達目標 C	真空管ギターアンプに関する知見を深く取得する		真空管ギターアンプに関する知見を取得する		到達目標Cについてさらなる努力が必要					
【教科書】 (株)ヤマハミュージックメディア「ミュージッククリエイターハンドブック」										
【参考資料】 特になし										
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		音楽基礎B1			年度	2024
英語表記		Basic Theory of Music B1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音楽再生	歴史認識	1 音楽再生	音楽再生の歴史把握	3	
			2 歴史知識	古代から現代へ変遷理解		
			3 現代音楽	音楽の進化を評価する		
2	制作歴史	制作進化	1 制作歴史	音楽制作の歴史知識	3	
			2 現代音楽	音楽制作手法の変化理解		
			3 制作技法	音楽制作の意義を知る		
3	制作手法	プロセス理解	1 音楽制作	現代音楽制作過程把握	3	
			2 制作プロセス	音楽制作のステップ習得		
			3 制作の手法	効果的制作プロセス理解		
4	PC基礎1	PC操作 1	1 コンピュータ	コンピュータ基礎理解前半	3	
			2 基礎理論	コンピュータの歴史知識		
			3 必要機能	音楽制作への応用知識		
5	PC基礎2	PC操作 2	1 コンピュータ	コンピュータ基礎理解後半	3	
			2 深掘り学習	PCの音楽制作活用法		
			3 実践課題	効果的PC利用テクニック		
6	オーディオ1	インタフェース 1	1 オーディオ知識	オーディオインターフェイス知識前半	3	
			2 インターフェイス	インターフェイスの基本操作		
			3 ハードウェア	接続・設定の手法習得		
7	オーディオ2	インタフェース 2	1 オーディオ練習	オーディオインターフェイス知識後半	3	
			2 接続方法	進んだ設定方法を習得		
			3 使い方習得	オーディオ品質の最適化技法		
8	DAW基礎1	操作方法概論 1	1 DAW基礎	DAWの基礎理解前半	3	
			2 ソフトウェア	DAWの操作手順習得		
			3 制作技法	音楽制作の流れを理解		
9	DAW基礎2	操作方法概論2	1 DAW進級	DAWの基礎理解後半	3	
			2 実践操作	DAWの応用操作習得		
			3 効率的利用	複雑な編集技法を理解		
10	プラグイン1	プラグイン概論 1	1 プラグインSW	プラグインSW基礎前半	3	
			2 DAW外部SW	プラグインの種類・特性理解		
			3 機能習得	プラグインの導入方法習得		
11	プラグイン2	プラグイン概論 2	1 プラグイン応用	プラグインSW基礎後半	3	
			2 制作テクニック	高度なプラグイン技法習得		
			3 SW活用術	音楽編集の効果的応用知識		
12	ハードウェア1	ハードウェア概論 1	1 音楽ハード	音楽ハード知識前半	3	
			2 その他機器	音楽制作機器の選択理解		
			3 基本知識	ハードウェアの活用法知識		
13	ハードウェア2	ハードウェア概論 2	1 音楽ハード	音楽ハード知識後半	3	
			2 応用知識	専門機器の操作法習得		
			3 実践練習	効果的ハードウェア利用術		
14	ケーブル類	ケーブル知識	1 ケーブル学習	ケーブル・コネクタ理解	3	
			2 コネクタ種類	適切な接続方法習得		
			3 接続方法	安全な接続環境構築知識		
15	総括	試験対策	1 15回復習	全授業内容の復習	3	
			2 重要ポイント	総合的スキルの確認		
			3 自己評価	実践的応用力の向上		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等